

就労継続支援 B 型施設を利用する成人女性に対する Yahoo!JAPAN オークションを通じた就労支援 —出品スキルの獲得に向けた支援方法の検討—

立命館大学応用人間科学研究科
障害・行動分析クラスター
池田沙織

障害者自立支援法（厚生労働省,2005）の制定を受け、障害者の QOL の拡大を目的に就労政策の整備や改善が進められてきた。しかし、労働関係法規の適用を受けない就労継続支援 B 型事業所や小規模の福祉作業所では、未だ工賃の低さが問題視されている。

そこで、本研究では就労継続支援 B 型事業所を利用する成人女性に対して、就労機会の拡大と継続的な就労を目的とし、Yahoo!オークションを利用した仕事とそのスキル獲得のための就労支援を行った。

Yahoo!オークションは、パソコン操作スキルさえあれば、個人でも商品を売り買いすることのできる、バリアフリーなマーケット市場といえる。セールスにおいて必要なことは、消費者が商品とその購入金額が等価であると納得し、購入行動につながる場の設定である。オークションでは、消費者が実際に商品を手にとり確認することが出来ないため、オークションの出品ページにおいて写真掲載や商品説明などを行い、できるだけ正確な商品の情報を消費者に伝えることが購買意欲を刺激し、入札につながる重要な鍵となる。

本研究では、オークション出品における 3 項目、「写真撮影」「商品説明」「出品情報入力」について、対象者が自立的にそれぞれの作業を遂行することを目標とし、支援を行なった。

支援手続きは、対象者のために作成したオリジナルの“出品方法マニュアル”を提示し直接支援を開始したベースライン期、「作業チェック表」の導入、「出品前確認表」の導入の大きく 3 つに分けられた。また、写真撮影スキル獲得に向けた練習機会や、撮影機器の導入など物理的環境設定の改善を行なった。

介入後の対象者の作業パフォーマンスの向上から、「作業チェック表」と「出品前確認表」が対象者のより自立的な出品行動に繋がったことが示唆された。

また Yahoo!オークションには、商品を落札した場合に、出品者との取引内容や届いた商品から出品者を評価するシステム、また消費者から出品者への質問機能などがある。これらの消費者との相互作用に対して、対象者のポジティブな発言見られたことから、自分が出品した商品に入札が入り、収入を得ることだけでなく、落札者との相互的な関わりも対象者の作業に対するモチベーションを高めることにつながったと考えられた。

本研究は障害者自立支援法の下での施設外支援の制度を利用し、福祉施設、民間店舗、大学(学生)の協働の下によって進められた。各機関の持つ資源を活用することで、多様な就労支援の可能性を広げ、個人の能力やニーズに適した就労支援を行うことができるのではないかと示唆された。